

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業一覧

(単位:千円)

No	事業名称	所管	事業概要	事業始期	事業終期	総事業費	臨時交付金配分額	効果検証	
								事業実施状況	効果・評価
1	公共的空間安全・安心確保事業	総務	役場庁舎内の衛生環境の維持、三密の解消を図るもの。 ・アルコール消毒液の配置 44本 ・窓口アクリル板の設置 16基 ・コードレス電話機の増設 5台 ・庁内ネットワークの再構築無線化 ・庁舎トイレの洋式化自動水洗化 ・庁舎トイレ照明の自動点灯化	R2.5	R3.3	11,577	11,577	庁内のネットワークを無線化し分散勤務体制を整備したほか、庁舎トイレの自動水洗化やアルコール消毒液の配置を行った。	庁内における感染予防対策を充実することで感染予防に貢献した。
2	ふるさとを遠くで見守る応援事業	総務	東京村人会員に対して弥彦村産米5kgを送付するもの。 (3,545円×111世帯=389千円)	R2.5	R2.6	393	393	東京村人会員に対して、弥彦村産米5kgを111世帯に送付した。	新型コロナウイルス感染症による自粛要請等による支援対策事業として感染拡大防止に寄与した。
3	役場機能分散化ネットワーク整備事業	総務	役場庁舎内で感染症が発生した場合に備えて、他の施設に住民票や諸証明の発行など最低限の業務がこなせるようネットワークの整備を行うもの。 ・ネットワーク機器購入 ・配線等工事 ・ネットワーク環境整備 ・ランニングコスト	R3.1	R3.3	349	349	弥彦体育館に情報系・基幹系ネットワークを構築した。	幸いにも当該施設で執務する事態にはならず済んだが、ワクチン接種会場や各種選挙投票所として、本事業によるオンライン環境整備の効果がいかに発揮された。
4	web会議用設備整備事業	総務	役場庁舎会議室にWeb会議を行うための設備を整備するもの。 ・カメラ・マイク ・モニター	R2.11	R3.3	971	971	電子黒板、Webカメラ、Webマイク、ワイヤレス映像送受信機を調達した。	コロナ禍において会議のほとんどがWebで行われたことから、複数人が出席する会議で多用された。取り合いになることもしばしばであり、事業効果がいかに発揮された。
5	公共交通運行委託事業者支援給付金給付事業	総務	燕弥彦公共交通会議で実施している公共交通事業の委託事業者に対して、売上の大幅減少を支援するため支援金を支給するもの。 ・広域循環バス「やひこ号」1社 ・デマンド交通「きららん号」6社	R2.10	R3.3	633	633	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた公共交通事業の委託事業者に対して支援金738,000円を支給した。	公共交通のダイヤ維持によって密回避に寄与するとともに、感染拡大防止に貢献した。
6	地域の感染状況等を踏まえたきめ細かい医療提供体制等構築事業	総務	燕弥彦総合事務組合が実施する新型コロナウイルス感染症対策事業に対して負担金を拠出するもの。 ・救急隊員感染防止衣(1,000着×5千円×14.16%=708千円) ・除染用オゾン水生成器(984千円×4台×14.16%+斎場984千円×1台×13.4%=690千円) ・消防署蛇口取替修繕(120千円×10か所×14.16%=170千円) ・救急隊消耗品(543千円)	R2.6	R3.3	2,111	2,111	燕弥彦総合事務組合が実施する新型コロナウイルス感染症対策事業に対して負担金を拠出した。	新型コロナウイルス感染症下における救急搬送体制の維持に貢献した。
7	防災活動支援事業	防災	感染症に対応した避難所備蓄品の購入を行うもの。 ・体温計 15個 ・避難所用テント(600張)・寝袋・マット・折りたたみベッド(各1200個) ・備蓄品倉庫(弥彦体育館)	R2.6	R3.3	18,388	9,911	避難所に避難された方用のスペース、プライバシー確保をするとともに、飛沫感染防止のため、テント、寝袋、ベッド、非接触型体温計等の配置を行った。また、施設に収納しきれない備蓄品を収納するための倉庫を設置した。	個室スペースを確保することにより、感染拡大防止が図られるとともに、避難時の心身の疲労軽減に寄与した。
8	防災活動支援事業	防災	村内5箇所の避難所(弥彦中学校、弥彦小学校、ヤホール、保健センター、村山地区一次避難所)に備蓄品倉庫を整備するもの。 (440千円×5台=2,200千円)	R2.11	R3.1	2,200	2,200	防災備蓄品を避難所施設内に収納すると避難者のスペースが狭くなり密になってしまうことから、収納スペースがない5施設に備蓄品倉庫を設置した。	備蓄品倉庫を屋外に整備したことにより、避難者スペースが確保され、換気環境が改善されることで、感染拡大防止に寄与した。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業一覧

(単位:千円)

No	事業名称	所管	事業概要	事業始期	事業終期	総事業費	臨時交付金配分額	効果検証	
								事業実施状況	効果・評価
9	防災活動支援事業	防災	避難所の生活環境を向上するため、避難所に移動式エアコンを設置するもの。 (14台+電気工事)	R2.7	R3.3	20,904	20,904	空調のない避難所4施設に移動式エアコンを設置した。	空調を設置し、快適な避難所空間を提供することで体調管理を維持できるとともに、頻繁に換気が可能となり感染拡大防止にも寄与した。
10	防災活動支援事業	防災	新型コロナウイルス感染防止により災害時に開設する避難所の備蓄品の増加分及び新規感染防止備蓄品 <ul style="list-style-type: none"> ・ジェットヒーター 12個 ・扇風機 36個 ・除菌装置 27個 ・投光器・蓄電池・パネルセット 10個 ・仕切り板 30個 ・ガムテープ 15個 ・消毒液容器(ポンプ式) 15個 ・手洗い用石鹸(ポンプ式) 30個 ・ロープ 15個 ・コンテナ 15個 ・意見箱 15個 ・テレビ 5台 ・ホワイトボード 10台 ・コードリール 10個 ・懐中電灯 10個 ・拡声器 10個 ・延長コード 10個 ・救急箱 10個 ・プラスチック・グローブ 230ケース ・トイレトペーパー 39箱(1箱48個入り) 	R3.1	R3.3	11,575	11,575	感染防止対策のため、各避難所内の避難者スペースのレイアウト変更に伴い、備蓄品等を追加購入した。また、感染予防用品の購入をした。	避難者スペースに余裕を持たせることに合わせ、備蓄品を整備することで、感染拡大防止に寄与した。
11	高校2年生・3年生等子育て世帯応援金支給事業	住民	臨時休校等で感染症の影響を受けている高校生等を扶養している世帯及び国の「子育て世帯臨時特別給付金」の対象外であった児童手当特例給付受給世帯に対し、子ども1人につき10千円の応援金を支給し、その生活を支援するもの。 <ul style="list-style-type: none"> ・高校2年生・3年生等子育て世帯応援金 10千円×174人=1,740千円 【応援金対象者】①+②=合計174人 ①高校生2年生・3年生児童 162人 ②特例給付児童 12人 ・郵送料 ・会計年度任用職員報酬、社会保険料 <p>○国の「子育て世帯臨時特別給付金」について 対象者 令和2年3月31日現在において中学生までの子ども(高校1年生まで)に対する児童手当(特例給付受給者を除く)受給者 支給額 子ども1人につき10千円</p>	R2.7	R3.3	1,809	1,809	①高校2、3年生児童 162人 ②特例給付世帯 12人 合計174人にひとり10万円の応援金を支給した。	国の「子育て世帯特例給付金」の対象外であった世帯について、対象世帯と同様に子どもひとり10万円を給付することで、感染症の影響に対する支援に寄与した。
12	出産子育て世帯応援金支給事業	住民	国の「特別定額給付金」の対象外であった令和2年4月28日以降に生まれた子どもを養育している子育て世帯及び妊婦(里帰り妊婦も含む)に対し、子どもの健やかな成長の応援をするため子ども(胎児)1人につき100千円の応援金を支給するもの。 <ul style="list-style-type: none"> ・出産子育て世帯応援金 100千円×68人=6,800千円 【応援金対象者】 ① 令和2年4月28日～令和3年3月31日出生 ② 令和3年3月31日までに妊娠届を届出する妊婦(ただし①を除く) ③ 里帰り妊婦、転入等 ・郵送料 ・需用費 <p>○国の「特別定額給付金」について 対象者 対象者は、基準日(令和2年4月27日)において、住民基本台帳に記録されている者(令和2年4月27日までに生まれた子どもが対象) 受給権者 対象者の属する世帯の世帯主 支給額 対象者1人につき100千円</p>	R2.8	R3.3	6,814	6,814	子ども(胎児)にひとり10万円の応援金を支給 支給人数68人	感染症の影響が長期化する環境下で、国の「特別定額給付金」の支給対象外であった、新生児、妊婦(胎児)に同額を給付することで、子どもの健やかな成長の応援に寄与した。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業一覧

(単位:千円)

No	事業名称	所管	事業概要	事業始期	事業終期	総事業費	臨時交付金配分額	効果検証	
								事業実施状況	効果・評価
13	必需物品供給事業	福祉	高齢者や障害者宅への配食ボランティアが安心して活動できるよう感染症対策を実施するもの。 ・感染防止用マスク(0.05千円×1,460枚=73千円) ・感染防止用手袋(0.01千円×2,920枚=30千円) ・アルコール消毒液の設置(28.16千円×1本+1.155千円×2本=31千円) ・ボランティア用ベスト(2.45千円×30枚=73千円)	R2.6	R2.11	205	205	配食サービス利用者及びボランティアスタッフの感染防止対策として必要な物品を購入した。	感染防止対策をしながら配食サービスを継続することができた。
14	西蒲原地区休日夜間急患センター支援事業	福祉	西蒲原地区休日夜間急患センターでは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により患者数が大幅に減少し、施設の管理運営に係る経費の不足が見込まれるため、施設の設置者である西蒲原福祉事務組合(新潟市・燕市・弥彦村で構成)に対し負担金を支出して、医療提供体制の維持・継続を図るもの。 (不足する経費を3市村で人口割26,327千円×5.9%=1,553千円) 追加不足分(不足する経費を3市村で人口割13,302千円×5.9%=785千円)	R2.4	R3.3	2,338	2,338	西蒲原福祉事務組合に対し負担金を拠出した。	新型コロナウイルス感染症下における救急医療体制の維持に貢献した。
15	障害者総合支援事業費補助金(特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス支援事業)	福祉	特別支援学校等の臨時休業に伴い、放課後等デイサービスの利用が増えるため、それに係る報酬単価の増加による村負担分を支出するもの。 (26,620円×村負担率1/4×10事業所×3ヶ月=200千円)	R2.4	R3.3	200	200	放課後等デイサービスの利用増による村負担分を支出した。臨時休業対策としてサービス利用を継続することができた。	サービス利用者の負担軽減につながった。
16	地域の名産品魅力発信事業	農業	特産である伊彌彦米・枝豆・ブドウのPRを行うもの。 ・パッケージデザイン・ロゴマーク作成 ・ウェブマーケティング ・伊彌彦米パンフレットリニューアル	R2.9	R3.3	7,498	7,498	弥彦むすめ以降に収穫される枝豆を「伊彌彦ちゃまめ」「伊彌彦えだまめ」としてブランドロゴ等を作成するとともに、ブランド農産物のウェブプロモーションを展開した。	枝豆のブランド化による付加価値向上および、ブランド農産物プロモーションで需要の落ち込んだ特産枝豆の知名度向上、販売促進に効果があった。
17	生産性向上へ取り組む事業者への支援事業	農業	農業の生産性向上のためのICT化推進支援及び、人との接触を減らす設備機械の導入支援を行うもの。 ・個人・法人 申請10件 ・団体 申請1件 申請合計 11件	R2.9	R3.3	15,445	15,445	接触機会を減らしつつ、生産性の向上や省力化を図ることができる機械・設備等を導入する農業者を支援した。	需要の落ち込みで影響を受けた農業者の生産基盤が強化され、生産性の向上や省力化に寄与した。
18	生産性向上へ取り組む事業者への支援事業	農業	人との接触機会を減らしつつ、農業の生産性向上のため、特産の枝豆の大型収穫機を導入し、収穫受託を行うため新たに立ち上げる生産者が組織する機械利用組合の利活用を図るもの。 ・大型収穫機 1台	R3.2	R3.8 (繰越)	13,486	13,486	早朝から複数人で行っていた枝豆の収穫作業の省力化を目的に、収穫受委託体系を構築すべく枝豆コンバインを導入した。	収穫受委託の構築で、需要の落ち込みで影響を受けた農業者の省力化により生産性の向上に寄与した。
19	観光/シニアプロモーション活動事業	観光	地域の魅力増強を目指す、新たな旅行商品を開発するもの。 ・GoToトラベル対象旅行商品「つながった。下越・佐渡」 ・佐渡市民限定「弥彦村自然満喫ツアー」	R2.5	R3.3	834	834	新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ観光需要を回復を目指し、下越・佐渡エリアによる2泊3日の旅行商品を造成した。 佐渡市民の親子を対象に、弥彦村における自然体験ツアーを実施した。	11月中旬頃からの新型コロナウイルス感染の再拡大、12月下旬からのGoToトラベル全国停止などの影響を受け利用者は6名に留まった。 佐渡市から11組の親子が参加し弥彦の魅力を知ってもらうことができた。
20	外食産業等テイクアウト・配送事業支援事業	観光	新型コロナウイルスの影響を受けた観光事業者、飲食事業者を支援するため、観光飲食事業者の商品情報を分かりやすく掲載した観光アプリを開発し観光周遊を促すとともに、アプリに商品のテイクアウト機能を設け、飲食需要の喚起と感染拡大防止の両立を図るもの。 ・アプリ製作費一式(500千円)	R2.5	R3.3	500	500	弥彦観光アプリケーション「弥彦まちあるき」を開発し、観光周遊の促進を図るとともに、テイクアウト可能店舗の検索機能を付けることによる飲食需要の喚起、感染拡大防止を実施した。	テイクアウト可能店舗の検索機能を付けたことから、売上の落ち込んだ飲食業の経営に寄与した。
21	地域の経済活動を支援するエリアマネジメント事業	観光	新型コロナウイルスにより長距離を移動する観光が困難となり、近距離での観光が目される中、マイクロツーリズムを推奨するための観光周遊バスを造成するもの。 ・新潟市との共同コミュニティバス運営費用	R2.9	R2.12	539	539	マイクロツーリズム推奨のため、新潟市西蒲区で就航中の「にしかん観光周遊ぐる〜んバス」を弥彦村まで延伸した観光周遊バスを造成した。	自家用車以外の方法で観光客を迎える選択肢が増え、誘客に寄与した。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業一覧

(単位:千円)

No	事業名称	所管	事業概要	事業始期	事業終期	総事業費	臨時交付金配分額	効果検証	
								事業実施状況	効果・評価
22	地域の基礎的活力養成事業	観光	将来のインバウンドに備え、観光案内Webサイトを新設し、携帯端末のみで街歩き可能な環境を整備するもの。 Webサイト新設、管理	R2.9	R3.3	996	996	英語、中国語(繁体語)、日本語の3か国語による道案内サイトの開発を行った。	3か国語に対応した道案内サイトの開発により、外国人観光客に対応することができた。
23	「新しい旅行スタイル」実現のため、宿泊・飲食・運送等のトータルな環境整備や新たなビジネス展開の促進	観光	キャンピングカー、RV車にて滞在する観光客に対応した環境の整備を行うもの。 簡易炊事場、トイレの整備(19,910千円) 地盤改良費(756千円)	R2.9	R3.3	20,666	20,666	新型コロナウイルスの影響により旅行の在り方が変わりつつある中、RV車、キャンピングカーにて滞在する観光客に対応するため、さくらの湯駐車場敷地内にRVパークを建造した。	人混みを避けた旅行者に対応することができ、今までになかった旅行者の獲得につながった。
24	観光施設等支援事業	観光	【お買物券】新潟県内在住の旅館等宿泊者に対して、村内観光施設等で使用できる1,000円分のお買物券を発行するもの。 【宿泊券】新潟県内在住の旅館宿泊者に対して、抽選でペア村内旅館等で使用できる宿泊券30,000円を発行するもの。 ・【お買物券】(2,000人×1,000円=2,000千円) ・【宿泊券】(30,000円×30組=900千円)	R2.8	R2.8	2,900	2,900	新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ観光需要を回復するべく、新潟県民の宿泊者を対象に、弥彦村内で利用可能なお買物券1,000円分、宿泊補助券2,000円分の進呈。さらに抽選で20,000円の宿泊券プレゼントキャンペーンを実施した。	宿泊客の増加、消費喚起につながり新型コロナウイルスにより影響を受けている村内事業者の経営に大きく寄与した。
25	地域環境整備事業	観光	感染症拡大の防止するため、非接触型水栓や和式トイレの洋式化など弥彦公園内のトイレの衛生状態の向上を図るもの ・トイレ改修	R2.9	R3.3	7,810	7,810	弥彦公園入口と観月橋脇公衆トイレの非接触型水洗、和式トイレの洋式化を行った。	非接触型の設備を導入したことにより感染リスクの低下につながった。
26	新型コロナウイルス感染症対策事業継続応援事業	観光	新型コロナウイルスにより経済的な影響を受けた村内非営利団体に対し応援金を支給し事業継続を支援するもの。 ・(一社)弥彦観光協会(4,105円) ・(公社)シルバー人材センター(1,800千円)	R2.10	R3.3	5,905	5,905	新型コロナウイルスの影響を受けた観光協会を支援する目的から会費の免除を行った弥彦観光協会を支援するため4,104,600円を支給した。 新型コロナウイルスの影響により受注が大幅に減少した弥彦シルバー人材センターに資金ショートを防ぐ目的から1,800,000円を支給した。	新型コロナウイルスの影響を受けている村内非営利団体の活動に寄与することができた。
27	金融面での支援等と併せて行う事業者支援事業(燕・弥彦総合事務組合)	建企	燕・弥彦総合事務組合が実施する水道料金の基本料金を6か月分免除に対して、弥彦村分を負担するもの。 ・基本料 7月分5,113千円+8月分5,098千円+9月分5,116千円+10月分5,102千円+11月分5,107千円+12月分5,087千円(30,623千円) ・料金システム改修費(42千円)	R2.7	R2.12	30,665	10,665	基本料金の免除実施対象期間は、7月から12月メーター検針分の6か月分で、減免件数は、計19,604件(官公庁等を除く)であった。	基本料金を免除することにより、村民の生活費や事業者における経費負担軽減が図られた。
28	金融面での支援等と併せて行う事業者支援事業	建企	リフォーム工事の助成額等を拡充して、建築関連業等への発注増加を促し経済支援を図るもの。 ・住宅リフォーム助成事業(1件あたり補助率20%、上限額20万円)	R2.4	R3.3	10,339	8,451	通年では、1件あたり補助率10%、上限額10万円であったが、助成金拡充により、1件あたり補助率20%、上限額20万円を支給した。	「ウッドショック」の影響により、現状の想定価格での住宅建設が難しい景気後退のなか、助成金の拡充により、建築関連業への経済支援が図られた。
29	夏季スクールバス利用料金支援事業	教育	夏休み短縮に伴う夏季スクールバスを運行するもの。 ・スクールバス運行費7/27~7/31 (月曜1回×25,245円+平日4回×20,900円=109千円)	R2.7	R2.7	109	109	新型コロナウイルスによる臨時休校の影響で夏休み期間が短縮されたため、児童の安全を考慮してスクールバスを運行した。	スクールバスを運行することにより、登下校中の児童の熱中症を防ぐことができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業一覧

(単位:千円)

No	事業名称	所管	事業概要	事業始期	事業終期	総事業費	臨時交付金配分額	効果検証	
								事業実施状況	効果・評価
30	公立学校情報機器整備費補助金	教育	国の補助事業としてGIGAスクールサポーターを小・中学校に配置するもの。	R2.9	R3.3	4,963	2,663	GIGAスクール構想により児童生徒1人につき1台整備するタブレットの初期設定等を実施した。	タブレットの導入がスムーズに行われたことにより、臨時休校時の持ち帰りにも対応することができた。
31	図書館パワーアップ事業	教育	公民館図書室の蔵書をデジタル管理することにより利用率の向上を図るもの。 自粛期間中の在宅時間を有効に過ごせるようにするもの。 ・システム導入 ・蔵書データベース化 ・公民館図書室図書購入 ・小・中学校図書購入	R2.9	R3.3	18,952	18,952	公民館図書室に図書館システムを導入し、蔵書のデジタル管理化を実施した。また、図書を購入し蔵書の数と内容を増強した。	図書館システムを導入したことにより利便性が向上し、貸出冊数が大幅に伸びた。蔵書数が増えたことも利用率の向上につながり、在宅時間の有効活用に貢献した。
32	GIGAスクール端末整備事業	教育	GIGAスクール構想における「1人1台端末」の早期実現及びICT教育の環境整備を図るもの。 ・タブレット端末購入費 【補助事業分】 (小学校282台、中学校150台) 【単独事業分】 (小学校184台、中学校134台) ・タブレット端末付属品(タッチペン、カバー、保護フィルム)購入費 (タッチペン 750本) (カバー 750個) (保護フィルム 750枚) ・電子黒板購入費 (小学校12台、中学校6台) ・フィルタリング5年ライセンス	R2.7	R3.3	46,693	27,253	GIGAスクール構想により児童生徒1人につき1台整備するタブレットのうち、補助事業対象外の台数を購入した。また、ICT教育の推進に必要な電子黒板等の備品を購入した。	補助事業対象外のタブレットを購入し、すべての児童生徒にタブレットを配備することができた。また、ICT教育の推進に必要な備品を購入したことにより、臨時休校時のリモート授業にも対応することができた。
33	弥彦中学校体育館トイレ改修事業	教育	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、弥彦中学校体育館トイレの洋式化及びドライ化改修工事を行うもの。 ・設計監理委託料 ・改修工事費	R2.8	R3.3	14,784	14,784	弥彦中学校体育館トイレの洋式化、自動水栓化及びドライ化改修工事を実施した。	社会体育施設としても利用されている中学校体育館トイレの改修工事を実施したことにより、感染リスクの低下につながった。
34	学校給食臨時休業対策事業	教育	令和2年4月、5月の臨時休校により、新潟県農協牛乳(株)より違約金の請求があったため、学校臨時休業対策費補助金の趣旨にのっとり、違約金を支払いたい。 【事業費概要】 新潟県農協牛乳違約金 4月分72,180円 5月分56,944円 合計129,124円	R2.4	R2.6	129	129	臨時休校により給食食材を納入できなくなった業者に対し、違約金の支払いを行った。	臨時休校により売り上げに影響が生じた業者に対し、損失部分を補填することができた。
35	弥彦中学校修学旅行支援事業	教育	弥彦中学校2年生修学旅行の行き先について、当初関西方面を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、行き先を変更することとした。すでに契約している関西方面就学旅行企画料のキャンセル料が発生するため、保護者に代わり村が補填したい。 【事業費概要】 修学旅行キャンセル料 @4,909円×78人=382,902円	R2.4	R3.3	383	383	新型コロナウイルスの影響により中学校の修学旅行にキャンセル料が発生した件について、キャンセル料を村が全額負担した。	保護者の経済的負担を軽減することができた。
合 計						284,063	231,958		